

東海第二発電所 配管系に対する定ピッチスパン法の適用範囲について

東海第二発電所の工事計画対象の配管系に対して、定ピッチスパン法を適用している範囲について下表に示す。また合わせて備考欄に配管系以外において定ピッチスパン法を適用している設備を表1に示す。

表1 定ピッチスパン法適用範囲

		適用有無	適用手法
耐震Sクラス SA設備*1	新設	緊急時対策所用発電機に係る燃料油配管に対して定ピッチスパン法を適用*2	応力基準定ピッチスパン法
	既設	無し	—
耐震Bクラス	新設	無し	—
	既設	廃棄物処理設備の一部配管系に対して定ピッチスパン法を適用	振動数基準定ピッチスパン法

*1 常設耐震重要重大事故防止設備及び常設重大事故緩和設備

*2 緊急時対策所用発電機に係る燃料油配管については、応力基準定ピッチスパン法を適用する計画であり、設置建屋の水平方向及び鉛直方向における卓越振動数を踏まえた支持方針とする。本件については個別の計算書にてご説明する。

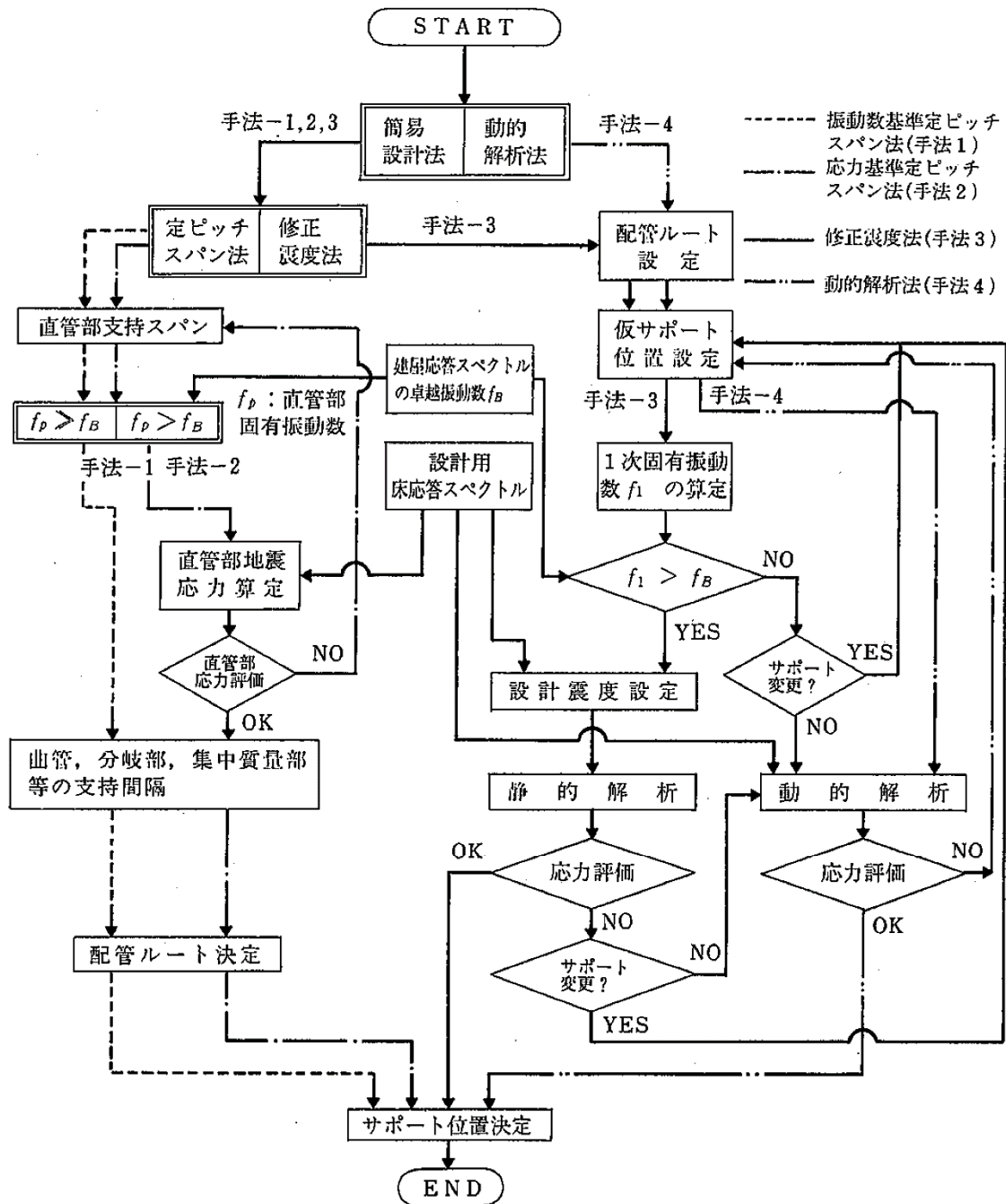


図 6.6.3-40 Bクラス配管簡易設計法及び動的解析法による設計手順